

今後の新型コロナウイルス 感染症対策等について

滋賀県

1 直近の感染動向(10月10日現在)

【県内の病床数および宿泊療養施設の状況】

	県内 病床数	入院者数			空床数	県内 宿泊療養 部屋数	療養者数			清掃・修理待ち	空数
		県内発生	その他	県内発生			その他				
総数	437	41	36	5	396	677	26	26	0	106	545

【県内の陽性者発生状況】

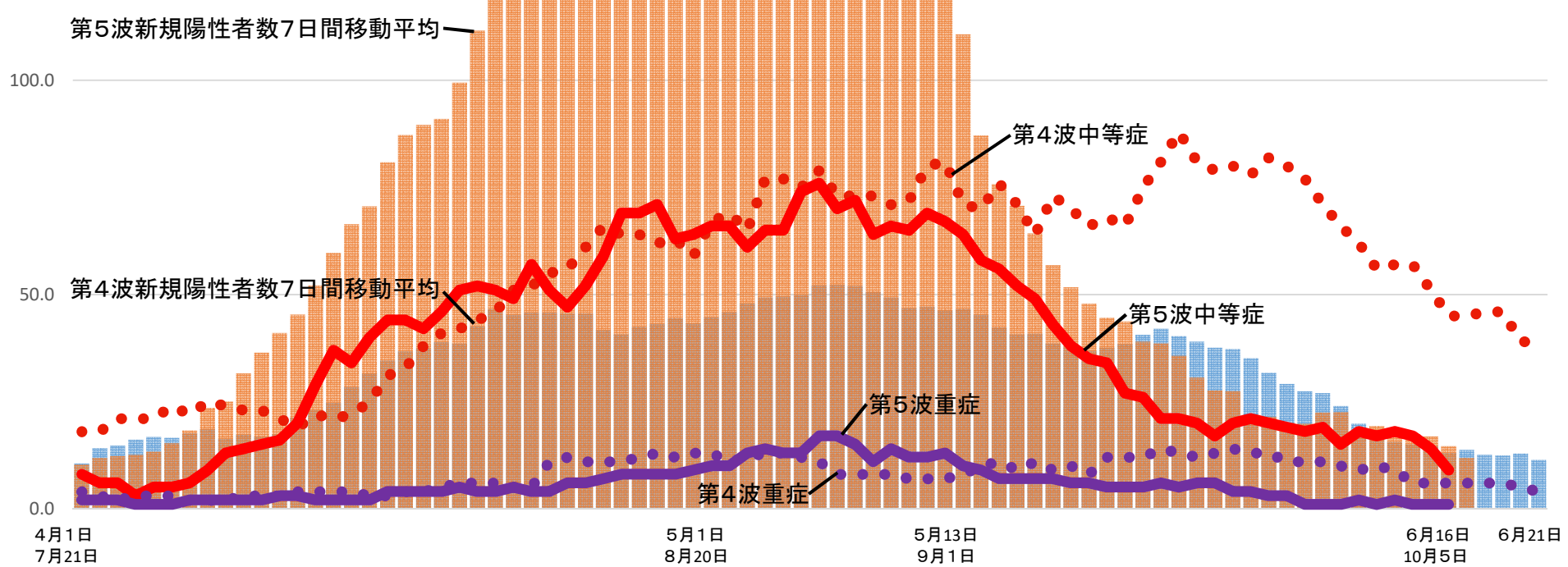
項 目	陽性者数累計	現在 陽性者数	入院中				入院予定等	宿泊 療養	退院等	死亡
			重症	中等症	軽症					
PCR検査数 (うち行政検査分 (うちその他検査分	175,859 68,642 107,217)	82	36	1	7	28	20 (うち自宅待機 2)	26 (うち自宅療養 18)	12,143	102
抗原検査数	80,702									

【その他県内の感染状況】

①病床のひっ迫具合	最大確保病床の占有率	9.4%	②人口10万人当たりの全療養者数	6.2人
	うち重症者用病床の 最大確保病床の占有率	1.9%	③直近1週間のPCR等陽性率	1.7%
			④直近1週間における人口10万人 当たりの新規報告数	3.0人
	【入院率】(現在の陽性者累 計に占める入院者の割合)	43.9%(参考値)	⑤直近1週間と先週1週間の 陽性者数の比較	少ない
			⑥直近1週間における 感染経路不明割合	39.5%

滋賀県 重症度別第4波と第5波の比較

人	年代	第4波			第5波(10/5)時点			年代	第4波			第5波(10/5)時点		
		感染者数(a)	中等症(b)	割合(b/a)	感染者数(a)	中等症(b)	割合(b/a)		感染者数(a)	重症(b)	割合(b/a)	感染者数(a)	重症(b)	割合(b/a)
200.0	10歳未満	120	3	2.5%	655	1	0.2%	10歳未満	120	0	0.0%	655	0	0.0%
	10歳代	299	2	0.7%	1015	7	0.7%	10歳代	299	0	0.0%	1015	1	0.1%
	20歳代	562	7	1.2%	1763	24	1.4%	20歳代	562	1	0.2%	1763	2	0.1%
	30歳代	378	21	5.6%	1069	51	4.8%	30歳代	378	0	0.0%	1069	5	0.5%
	40歳代	461	67	14.5%	1157	107	9.2%	40歳代	461	4	0.9%	1157	8	0.7%
	50歳代	391	94	24.0%	714	87	12.2%	50歳代	391	8	2.0%	714	10	1.4%
150.0	60-64歳	136	36	26.5%	187	32	17.1%	60-64歳	136	7	5.1%	187	6	3.2%
	65歳以上	502	223	44.4%	298	82	27.5%	65歳以上	502	45	9.0%	298	9	3.0%
	合計	2849	453	15.9%	6858	391	5.7%	合計	2849	65	2.3%	6858	41	0.6%



■ 第4波新規陽性者数7日間移動平均
 ■ 第5波新規陽性者数7日間移動平均
 ※人口10万人あたりの新規陽性者数が5人を超えた日を起点として比較
● 第4波 中等症
 ● 第5波 中等症
 重症度別の人数は、コントロールセンター通信の数値を利用 3
● 第4波 重症
 ● 第5波 重症
 表については、第4波は4/1~6/30、第5波は7/1以降で集計

2 現在の対応について

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」 に基づく対応について (令和3年10月7日)

■ 「注意ステージ」へ移行 感染拡大防止と社会経済文化活動の両立！

基本的な感染対策の徹底 ~ ワクチン接種後も感染対策の継続を ~

- ・ 手洗い、マスクの着用、密の回避などの徹底を！
- ・ 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意を！
- ・ 家庭での感染対策の徹底を！
- ・ テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策の徹底を！

外出について

- ・ 感染者が多数確認されている地域等への外出は慎重に！

会食について

- ・ 会食は認証店舗で！
- ・ マスク会食など感染リスクを下げる工夫を！



- 「今こそ滋賀を旅しよう！」
 - ・ 10月8日からコンビニ券の販売を再開
- スポーツサイクルレンタル助成事業
 - ・ 10月8日から受付再開（助成期間を12月末まで延長）
- GoToEat
 - ・ 本県および近隣府県の感染状況等を踏まえ、認証店での再開時期を検討
 - ・ 事業者には、引き続き早期の認証取得を要請

10月7日

第49回滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議を開催

- ・ 「警戒ステージ(ステージⅢ)」から「注意ステージ(ステージⅡ)」へ移行
- ・ 「飲食店等への営業時間の短縮の要請」については、緊急事態宣言解除(10月1日)以降は実施していない
- ・ 県民の皆様には、引き続き、基本的な感染対策の徹底などをお願い。
- ・ 一時的に停止をしていた「今こそ滋賀を旅しよう！」などの施策も段階的に再開(詳細後述)

3 今後のワクチン接種について

一般向けワクチン接種状況

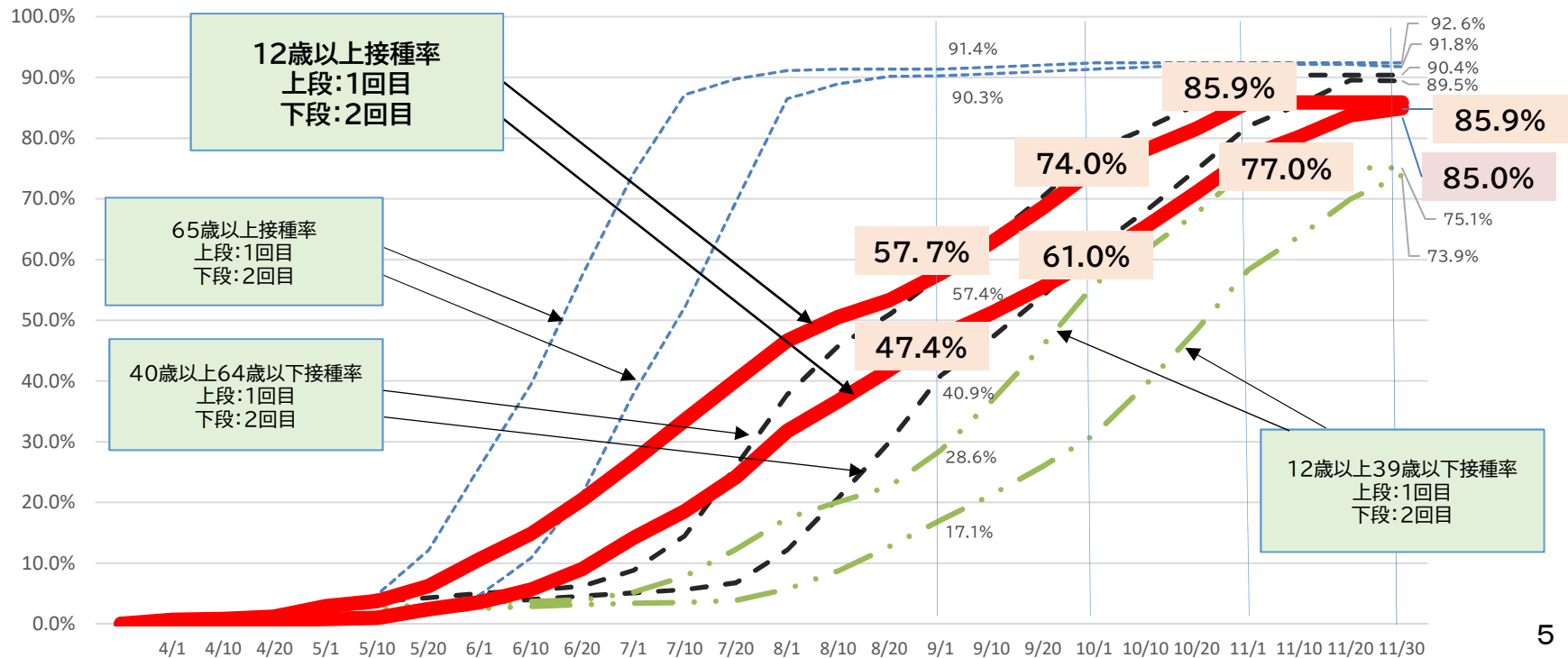
1回目接種済人数	全年代	976,752人	68.8%
	接種対象者	976,752人	77.2%
	12-39歳	264,307人	62.5%
	40-64歳	369,530人	78.3%
	65歳以上	342,915人	92.6%

令和3年10月10日0時まで ワクチン接種状況ダッシュボードから

2回目接種済人数	全年代	835,981人	58.9%
	接種対象者	835,981人	66.1%
	12-39歳	175,447人	41.5%
	40-64歳	321,276人	68.1%
	65歳以上	339,258人	91.6%

※上記の接種人数には医療従事者等優先接種者数は含んでいない。

年齢区分別接種率の見込み



ブースター接種(3回目接種)について

基本方針

2回接種を終了した者のうち、概ね8か月以上経過した者を対象に追加接種(3回目接種)を行う。

【9月17日開催 第24回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会】

○接種対象者

さらなる科学的知見や諸外国の対応状況を踏まえ判断する。

○追加接種の開始時期(予定)

令和3年12月～ 医療従事者等

○使用するワクチン

1回目・2回目に用いたワクチンと同一のワクチンを用いることを基本とする。

県と市町の役割

○県の役割

- ・接種に係る広域調整や進捗管理等の市町支援
- ・ワクチンの配分調整
- ・専門的相談体制の確保等

○市町の役割

- ・接種の実施体制の確保
- ・接種券一体型予診票の印刷・発送
- ・ワクチンの配分調整
- ・相談体制の確保等

予算

追加接種にかかる接種体制の確保に必要な費用は、地方負担が生じることのないよう、国が全額負担する方針のもと、必要な予算について今後措置する予定

4 次の波に備えた取組について

- ① 療養者に対する中和抗体薬投与の体制整備
 - ・ 宿泊療養者に対する投与体制の充実
 - ・ 自宅療養者に速やかに投与できる体制の整備
- ② 感染状況に応じた入院医療体制の整備
 - ・ 現在の病床数(437床)を維持するよう医療機関と調整
 - ・ 感染拡大に対応した臨時の医療施設開設の検討
- ③ 宿泊療養施設の効率的な運用
 - ・ 稼働率向上に向けた業務見直し
 - ・ 受け入れ可能数の増加に向け問診スペース増設・受入時間延長等の検討
- ④ 自宅療養者が安心して療養できる体制の強化
 - ・ 見守り観察ステーションの持続可能な運営のための機能移転
 - ・ 医療機関との連携強化による受診体制の充実
- ⑤ イベントベースサーベイランス事業の円滑な運用
 - ・ 現場の気づきをもとに早期に検査を実施
 - ・ 高齢者施設や学校等における感染拡大を抑止

5 ワクチン・検査パッケージについて

- ワクチン・検査パッケージとは、「ワクチン接種歴およびPCR検査等の結果を基に、個人が他者に二次感染させるリスクが低いことを示す仕組み」。
- 政府は、緊急事態措置区域等における、制限緩和の方策として、飲食、イベント、人の移動、学校での活動などでのワクチン・検査パッケージ等の活用を想定している。
- 一方で、ワクチン・検査パッケージを進める上では、例えば下記の懸念点があり、こういった点を踏まえながら、ワクチン・検査パッケージの活用を検討していく必要がある。
 - ・ワクチン接種により感染リスクが低減できる期間についての科学的知見が定まっていない。
 - ・検査結果は検体採取時点の状況であり、継続的な証明にはならない。
 - ・社会経済活動のための検査が、感染拡大防止や医療のための検査を妨げないことが必要。

6 政府における技術実証について

- (1) **実証対象施設** …… 飲食店、ライブハウス・小劇場、イベント会場 など
- (2) **実施時期** …… 10～11月
- (3) **実証する技術例** …… ワクチン接種歴等確認／入場前検査、入場者リストの作成 など
- (4) **現在の状況** …… 本県として飲食店での技術実証に参加することとしており、技術実証に参加して得られる知見や国の検証結果等を踏まえ、県として具体的な活用方法を検討する。

7 今後の経済対策について

1 本県経済の現状

●2021年7～9月期の本県景況調査

<全体>

・今期の業況DIは▲20.7と前期比7.2ポイント改善。来期の業況DIについては、▲19.3と緩やかに回復する見通し。

<規模別>

・規模別の業況DIでは、大企業が18.2とプラス幅が拡大。一方、中小企業(小規模事業者を含む)では▲25.0と依然としてマイナス。改善はみられるものの企業規模によって景況感に違い。

<業種別>

・業種別の業況DIでは、製造業が▲4.5とマイナス幅が縮小したが、小売業▲41.7、サービス業▲34.0であり、企業業種によっても景況感に違い。

2 今後の経済対策

① 事業継続の下支え

●事業継続支援金

緊急事態宣言解除後の10月についても、売上が減少する中小企業者を支援

・給付額:中小企業等:20万円 個人事業主:10万円

①令和3年9月または10月のいずれかの月の売上が令和元年または令和2年の同月と比較して50%以上減少した者

②令和3年9月と10月の売上の合計が令和元年または令和2年の同期間と比較して30%以上減少した者

② 消費・観光需要の喚起

●「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊キャンペーン事業…ステージⅡに移行した段階で再開(10月8日から)
([詳細次頁](#))

●Go To Eat…ステージⅡに移行した段階後、感染状況を見極め、認証店で再開(※事業者には、早期の認証取得を要請)

●プレミアム付きデジタル商品券による小売・サービス事業者応援事業…令和4年1月初旬から開始(11月…店舗募集、12月…販売、)([詳細次頁](#))

別紙 消費・観光需要の喚起策について

「今こそ滋賀を旅しよう！」宿泊周遊 キャンペーン事業 (観光振興局)

県民が県内で旅行をする場合の宿泊補助
および周遊クーポン券を付与することにより、
新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ
観光需要を喚起し、県内旅行・観光周遊
を促進する。

事業内容

コンビニで宿泊補助券を購入し、県内の旅館・ホテルの対
象プランを予約すると、チェックイン時に、宿泊代金の割引と、
地域の観光施設で利用できる周遊クーポンを提供する宿
泊周遊キャンペーンを実施。

第4弾(当初予算4万人泊、4月補正予算13万人泊)
⇒ 11月以降分として、8万人泊分を増額



新

プレミアム付きデジタル商品券による 小売・サービス事業者応援事業 (商工政策課)

新型コロナウイルス感染症の拡大により
大きく影響を受ける小売・サービス業の事
業者支援を目的として参加店舗で利用でき
るデジタル商品券を発行することで、県内
消費を喚起し、県内経済を本格回復軌道に
乗せる起爆剤とする。

実施
期間

令和4年1月初旬から1か月半程度

対象
業種

- ①各種小売業
- ②各種サービス業
- ③認証取得の飲食店
(コンビニ、ドラッグストア、家電大型量販店等
は除く)

プレ
ミア
ム率

50%
(例：15,000円分のデジタル商品券を
10,000円で販売、その場合の販売数は13万
セット)

➤ 「ついで買い」や「ワンランク上の消費」を誘発・喚起できるよう工夫